



「英語で話したよ」

福住小児童 ネパールと交流授業

天理 天理市立福住小学校の5、6年生の児童とネパールの児童がオンラインで交流する授業が25日、同市福住町の市立福住公民館などであった。

同小は英語教育に力を入れており、今回はALT(外国語指導助手)のプラダハン・プラジャヤさん(55)の出身地、ネパールの子どものとの交流授業を企画。同小によると、現地の公用語はネパール語だが、英語教育に熱心で、子どもでも英語が話せるという。

交流相手は、プラダハンさんのめいのイプシタさん(10)。5年生の授業では、イプシタさんが食べ物を手で食べることや牛が神様とあがめられていることなど、母国について英語で紹介。福住小の児童も「宝物は何ですか」「アニメは何が好きですか」などと英語で尋ねた。

田中愛莉さん(10)は「質問がうまく伝わるように何度も練習しました」と笑顔。満崎悠聖さん(10)も「発音が難しかったけれど、離れていても思いが伝わったと思う」と話した。